



## ■ テーマ名

- ① 資産運用、ポートフォリオ、株式投資、マネー・ライフプランの講演・講義
- ② 企業統治・コーポレートガバナンス、IRの実際・実務、IPO・株式上場
- ③ 電機、機械（建機・ロボット・FA・工作機械・重機械）などの経営戦略・企業分析

## ■ キーワード

資産運用、株式投資、コーポレートガバナンス、IR (Investor Relations)、上場、企業分析・評価

## ■ 研究の概要

- (1) 1994～2013年に、野村総合研究所・野村証券（金融研究所）・野村アセットマネジメントの証券アナリストとして、企業を調査し、投資家に向けて分析を発信してきた。電機・機械・素材・自動車（部品）・エネルギー関連企業を中心に、経営者やIRなど約1万人の取材と約1千の工場・施設等の現場調査に基づき、レポートを作成した。エコシステムの横断的な現地調査による競争力比較を行ってきた。
- (2) 証券市場にも関与し、国内外の機関投資家と「企業」のあり方を議論してきた。資産運用会社で日本株を専門とした経歴を持ち、現在はコーポレートファイナンスを専門としている（日本証券アナリスト協会（検定会員）、日本証券業協会（一種外務員、内部管理責任者資格））。2015年以降、東証上場の自動車部品企業「カネミツ」の社外取締役を兼務し、実効力のある企業統治を模索している。
- (3) 2017～2020年度は科研費（挑戦的研究）採択課題「アジアの生産財エコシステムの付加価値データベース分析」を行い、2022～2025年度は科研費（基盤研究（C））採択課題「産業用ロボットエコシステムの多様性における各国SIerの機能分析」に取り組んでいる。

## ■ 他の研究／技術との相違点

セルサイド（証券会社）とバイサイド（機関投資家）での各 10年程度の（アナリスト）実務経験に加え、10年弱の社外取締役経験も持つため、実務と理論の融合を意識している。

## ■ 関連実績

- (1) ディスクロージャー&IR総合研究所委託「東証一部上場企業統合報告書レビュー」(2020年～)
- (2) 社外取締役、経営・人事戦略・企業統治の提言（2015年～）
- (3) 日本証券アナリスト協会代議員（2016～2020年）
- (4) 神戸市・神戸創生戦略プロジェクトチームメンバー（2015～2016年）
- (5)（中学校・高校）教員免許更新講習、（小学生向け）「こども大学」の講師（2021年～）ほか

## ■ 関連業績（文献）

著書『工作機械・ロボット産業のエコシステム』（単著、晃洋書房、2021年）

著書『電子部品大辞典』（共著、工業調査会、2002年）ほか

テキストCMA（日本証券アナリスト協会認定アナリスト）試験「財務分析」第2次レベル「財務分析（応用）」（共著、2022年）

寄稿「マシニングセンターの市場動向」（日刊工業新聞 2020年8月26日付 18面～19面）他

## ■ 研究者から一言

委員会活動や講演会等の詳細は「神戸学院大学 情報の公表 教員総覧」のHP参照